

様

南九州西回り自動車道

「阿久根川内道路」に関する

# 要望書



南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会  
(令和6年5月 薩摩川内市SSプラザせんだい)

令和6年10月

南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会

南九州西回り自動車道の整備促進につきましては、日頃から格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

南九州西回り自動車道を含む高規格道路の整備は、地域間を結ぶ広域的な高速交通ネットワークを形成するものであり、九州の一体的な浮揚・発展に大きく寄与するものと期待が寄せられています。

また、高速交通体系の整備は、地域の発展はもとより、地震・台風・記録的大雨等の災害時における緊急輸送路や避難道路としての役割など、地域の実情に即した社会基盤の強化を進める上で、極めて重要な役割を担っています。

さて、南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」(延長 22.4 キロメートル)は、平成 27 年度に事業認可され、阿久根 I C から(仮称)西目 I C 間および(仮称)湯田西方 I C から薩摩川内水引 I C 間の工事が鋭意進められており、さらに、令和 5 年 10 月には(仮称)大川 I C から(仮称)湯田西方 I C 間の設計説明会が行われ、本年度から用地取得に伴います調査に着手されましたことに、地域住民の早期完成へ向けた期待が益々高まっているところです。

各関係機関の御尽力により、着実に事業が進められていることに深く感謝申し上げます。

「阿久根川内道路」の開通は、南九州西回り自動車道全体のミッシングリンクの解消をはじめ、産業振興や観光振興、農林水産業の活性化等多岐に渡るストック効果が現れ、長期にわたり地域経済が成長していくものと期待されています。

一方、20 年運転延長された九州電力株式会社川内原子力発電所に近接する本道路は原子力災害発生時における周辺地域の住民の広域避難や物資の緊急輸送などの機能を持つ重要な道路として、地域住民の安全・安心に繋がるものと考えています。また、南九州西回り自動車道は、令和 2 年 7 月豪雨では、通行不能となった国道 3 号の代替路として大きな役割を果たしました。

このような中、激甚化・頻発化する災害による脅威に対応するため、平常時・災害時を問わず、安定的な人流・物流を支える広域交通ネットワークの構築に集中的に取り組む必要があると考えています。

つきましては、阿久根川内道路の整備は、沿線地域の民間投資の誘発や生産性の向上など、豊かな暮らしの礎となる地域づくりを進める上で必要不可欠な道路です。

また、インフラ投資は地域経済を下支えするものであることから、今後も地元調整や用地取得等の事業実施に対して積極的に協力して参る所存でありますので、地元住民の思いを御賢察いただき次の事項につきまして特段の御理解と御高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和 6 年 10 月

南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会  
会 長 (阿久根市長) 西 平 良 将

- 1 南九州西回り自動車道のような高規格道路は、国の根幹的な施設であり、今後の国及び地域の社会・経済活動を支える重要な社会基盤であることから、迅速かつ着実に整備していただきたい。
- 2 地域の安全・安心のため、国土強靱化対策が必要であり、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の最終年度となる令和7年度においても、必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進すること。また、国土強靱化基本法に基づく国土強靱化実施中期計画を令和6年度内の早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、対策期間完了後も切れ目なく継続的・安定的に取り組んでいただきたい。
- 3 平常・災害時を問わず安定した人・モノ・情報の移動を確保し、生産性を向上させ、産業観光の振興による地域経済の活性化を図るため、また、災害時には、避難や救急救命・復旧活動等を支えるため、南九州西回り自動車道のミッシングリンクを早期に解消し、国道3号とのダブルネットワークを構築するよう予算の重点配分を行っていただきたい。
- 4 阿久根川内道路の全区間において、用地取得や工事に着手するなど、更なる整備推進を図っていただきたい。
- 5 災害に強い高速道路ネットワークを構築するため、また、近年の激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するため、地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保の取り組みを図っていただきたい。

これらの項目も踏まえ、山積する道路整備の課題に対応していくため、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額を満額確保すること。

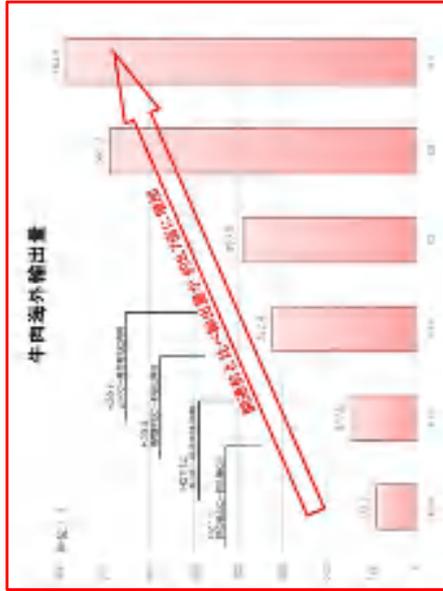




阿久根市

# ～南九州西回り自動車道 阿久根川内道路の整備促進～

- ・八代～水俣間・出水阿久根道路・薩摩川内水引～鹿児島間の開通に伴う交流人口増加！！
- ・輸出拠点空港（福岡空港）へのアクセス向上により市内食肉加工施設の海外輸出货量増加！！

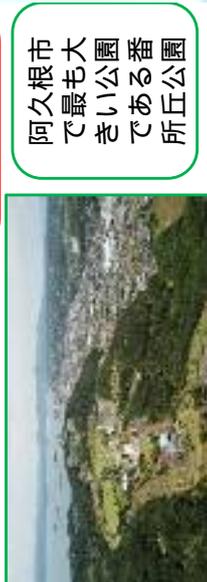


資料：(株)阿久根食肉流通センター

【主な輸出国】  
台湾、香港、EU、シンガポール、アメリカ、タイ他6か国

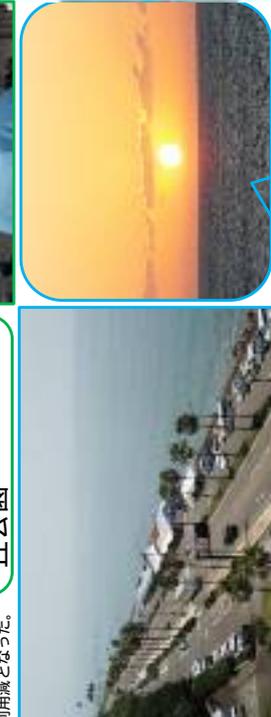
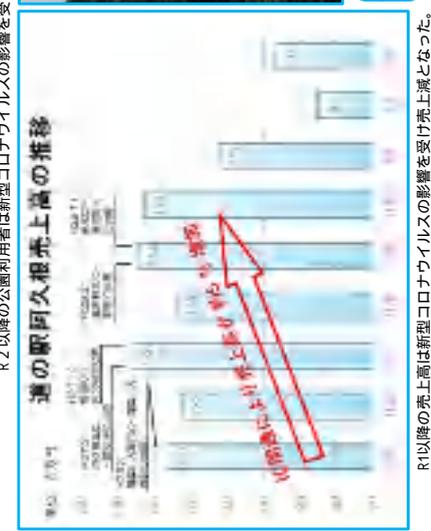


九州の集荷拠点である福岡へのアクセスが向上することで格段のスピードアップが図れるようになります。



イベントを行うと市内外からの来園者でにぎわう番所丘公園

阿久根市で最も大きい公園である番所丘公園



道の駅から見る夕日

休日には、立ち寄る利用者でにぎわう道の駅阿久根

R 2以降の公園利用者は新型コロナウイルスの影響を受け利用減となった。

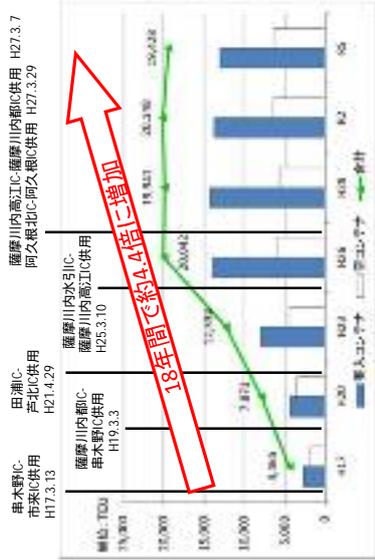
R1以降の売上高は新型コロナウイルスの影響を受け売上減となった。

# ～南九州西回り自動車道のストック効果～

- ・原子力災害時の避難時間短縮により、**地域住民の安全確保**
- ・企業立地数や川内港の取扱貨物量が伸び、**地域経済を支援**
- ・道路ネットワークの効率化によりアクセス性が向上し、**観光客が増加**



## 川内港のコンテナ取扱貨物量の推移



川内港

・国直轄事業による港湾整備中(令和9年度末供用予定)  
 ・原木輸出货量は令和4年全国3位(令和5年速報9万トン)



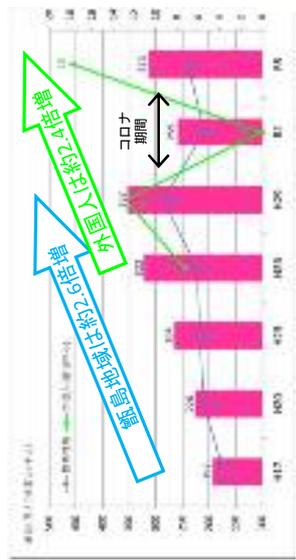
中甕港

外国籍クルーズ船寄港(令和5年度3回、令和6年度4回予定)



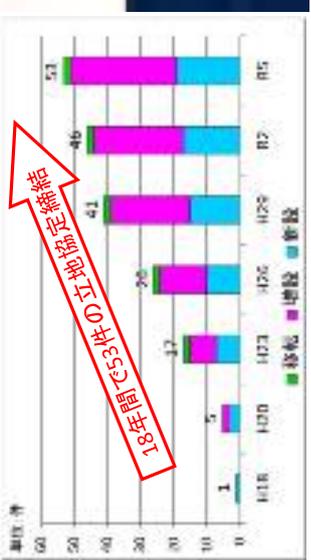
川内港臨海ゾーン周辺図

## 観光客数の推移

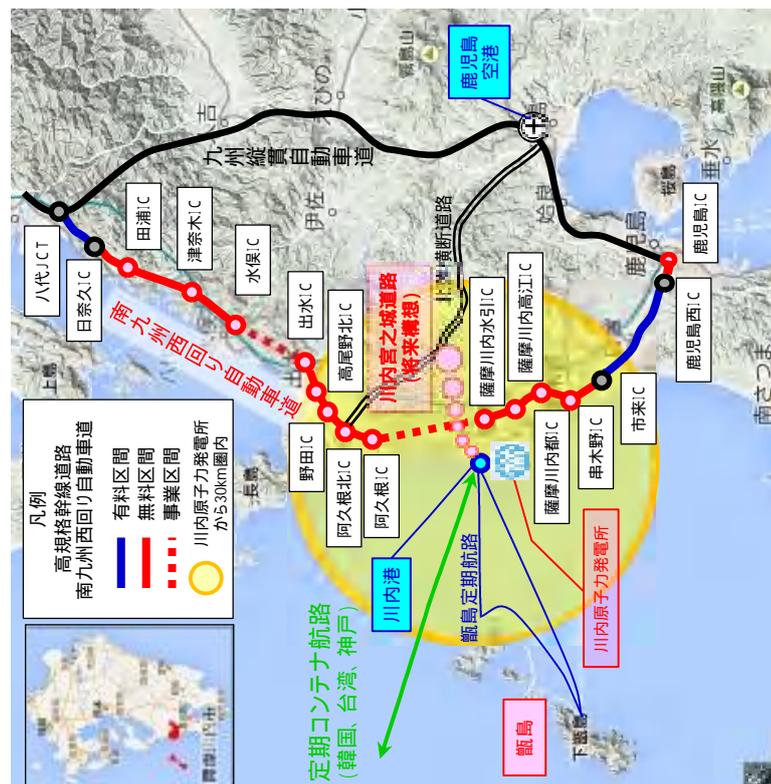


データ: 薩摩川内市調べ

## 企業との立地協定締結件数(累計値)



データ: 薩摩川内市調べ



## 川内港久見崎みらいゾーン

南九州西回り自動車道の全線開通を見据え、川内港に近接し、薩摩川内水引IC及び薩摩川内高江ICからも車で約10分の久見崎町に、SDGs、循環経済モデル、先端素材、次世代エネルギーを取り入れた21世紀型産業の育成や物流拠点整備などを目的に、産業用地を造成し、分譲中。

## サーキュラーパーク九州構想

川内火力発電所跡地をサーキュラーエコノミーと脱炭素化の推進による持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点とする構想。  
 川内港の機能強化にあわせて、背後圏の活性化が期待されている。国際物流拠点として道路ネットワークが重要となるため、川内宮之城道路構想の早期実現にも期待。



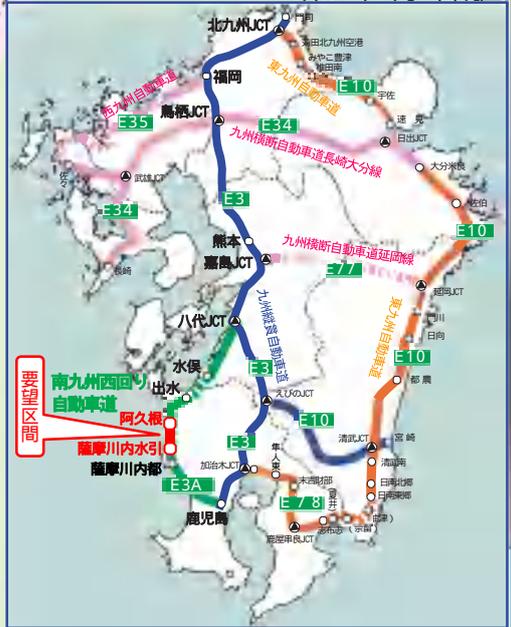
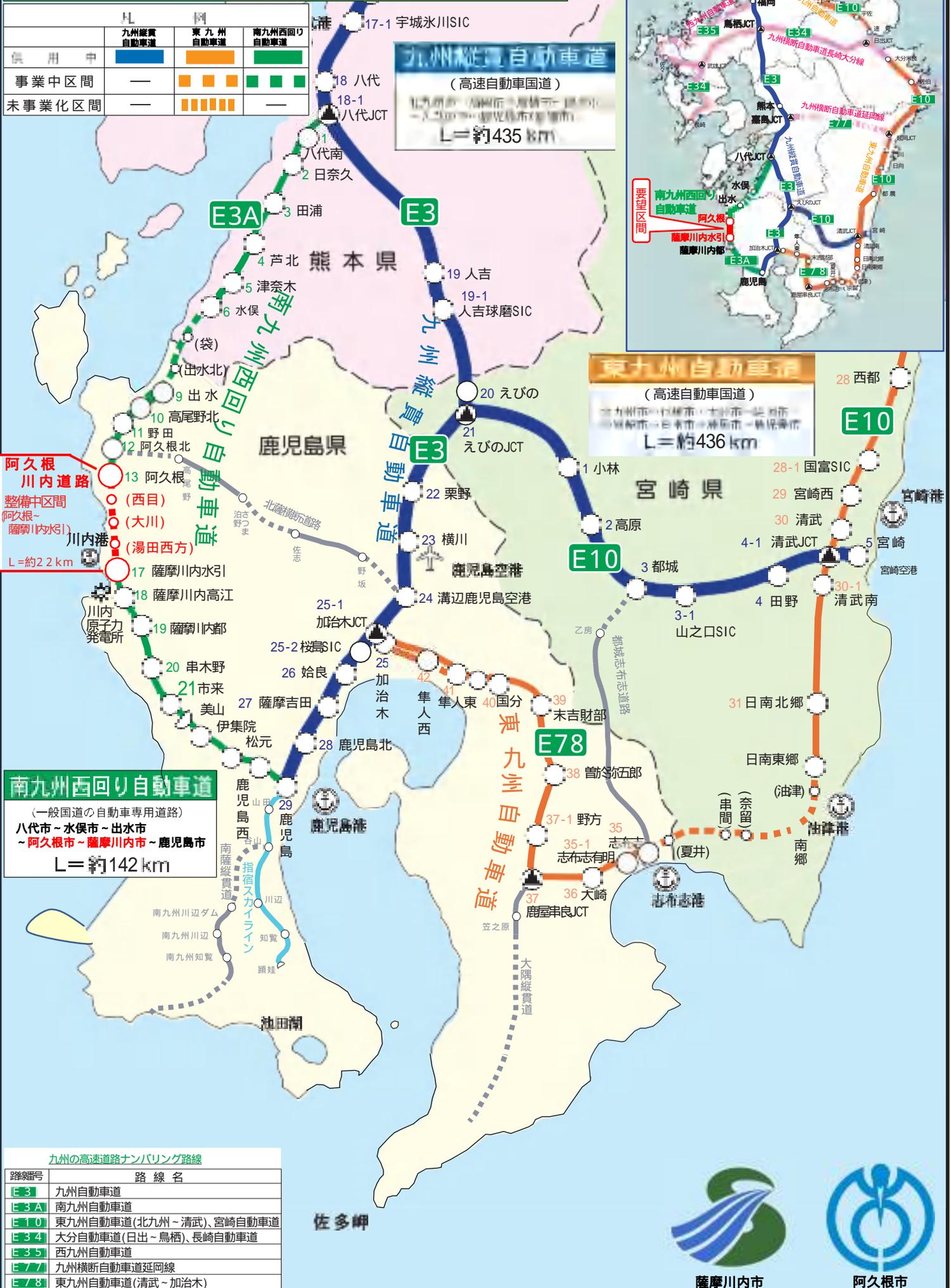
# 南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会名簿

令和6年9月現在

役 職		氏 名
会 長	阿久根市長	西平 良将
副会長	薩摩川内市長	田中 良二
監 事	阿久根市議会議長	仮屋園 一徳
監 事	薩摩川内市議会議長	大田黒 博
会 員	鹿児島県北薩地域振興局建設部長	茅島 浩一郎

# 高規格道路概要図

	九州縦貫自動車道	東九州自動車道	南九州西回り自動車道
供用中			
事業中区分	—		
未事業化区分	—		—



**東九州自動車道**  
(高速自動車国道)  
北九州市～八幡市～尾道市～宮崎市  
宮崎県市～日南市～津久喜市～鹿児島県市  
L=約436 km

**阿久根川内道路**  
整備中区分  
(阿久根～薩摩川内水引)  
L=約2.2 km

**南九州西回り自動車道**  
(一般国道の自動車専用道路)  
八代市～水俣市～出水市  
～阿久根市～薩摩川内市～鹿児島市  
L=約142 km

九州の高速道路ナンバリング路線

路線番号	路線名
E-3	九州自動車道
E-3A	南九州自動車道
E-10	東九州自動車道(北九州～清武)、宮崎自動車道
E-34	大分自動車道(日出～鳥栖)、長崎自動車道
E-35	西九州自動車道
E-77	九州横断自動車道延岡線
E-78	東九州自動車道(清武～加治木)

